

Densho Bato

でんしょ鳩



公益社団法人
北九州市障害福祉ボランティア協会
〒804-0067
北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階
北九州市立東部障害者福祉会館内
TEL 093-882-6770 FAX 882-6771
E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp
URL:https://ksvk.jp/
◇郵便局振替口座/福岡 01740-4-8846
◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座/2130527
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◆「バリアフリー観光情報を求めて」その1 2~3P

北九州市障害福祉ボランティア協会

常務理事 竹田 英樹

◆「視覚障害者にとっての門司港駅は…」

北九州市身体障害者福祉協会

事務局長 松本 大史

◆新シリーズ「ボランティアってなんだろう？」 4P

第1回「生命を守る!!」

たけちゃん

◆福祉のまちづくりネットワークプロジェクト 5P

リレーレポート⑫

「聴覚障害者にとってのバリアフリーとは」

北九州市難聴者・中途失聴者協会

理事長 神矢 徹石

◆「サマースクール」終了しました!!

ボラ協コーディネーター 鈴木 喜子

◆MYフレンド 6P

新理事 芳賀 信江

◆「丸亀製麺 まるごとまるがめうどん教室」 7P

株式会社トリドールホールディングス CSR推進室 木村 成克

◆協会カレンダー 8P

座標軸

白内障が進んできたのでハッキリ見えるようになるならと期待を込め手術することにしました。先ずは、手術後の感染を防止するためゴーグルのようなメガネを買いました。店員の方から「キレイに見えるようになりますよ」と言いわれました。とても病気をしたことも白内障の手術をされた経験もなさそうな方からの言でした。「ハッキリ見えるようになるですよ」ではなく、自信をもって言われた言葉でした。大人気ないので言いませんでしたが、「医師でもない貴女が言ったその言葉に根拠はあるのですか?」と言いたいものでした。患者でもなく、信頼関係もないただ品物を買った客にです。福祉や介護の現場でもこのような言葉でたまにガンカリすることがあります。何事も経験です。経験に裏打ちされた言葉は非常に強いものです。例え励ましの言葉であってもです。経験して知り得たことでも相手に向けて言葉を吐く時には気をつけたいものです。個人的なことだと思われるでしょうが、人の言葉にがっかりしました。手術は終わりました。でも、眼球そのものに新たな問題が見つかり、後日、再手術となってしまいました。キレイに見えるように早くになりたいものです。

(K.O)

バリアフリー観光情報を求めて

その1

北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事 竹田 英樹

令和元年度の事業計画で、当協会は新規事業として「観光地でのバリアフリー点検」を実施することになりました。

実際に推進することを目的に、ワーキンググループが継続実施されることになりました。

協議を重ねていく中で、「観光振興プラン」の取り組みとして「バリアフリー観光情報の発信」がありますが、バリアフリー観光情報を集約するための調査が進んでいないのが現状です。

北九州市は、平成18年に「観光振興プラン」を発表し、観光振興を進めてきましたが、平成26年度「北九州市観光振興プラン」を新たに策定するにあたり、平成25年、市内観光関連団体によるワーキンググループを立ち上げました。

当協会は、北九州市がこのワーキンググループを立ち上げた時から参加をし、障害のある人も北九州市の観光が楽しめるよう意見を出してきました。

平成26年5月には新たに「北九州市観光振興プラン」が策定され、このプランを確

実に推進することを目的に、ワーキンググループが継続実施されることになりました。

「観光振興プラン」の取り組みとして「バリアフリー観光情報の発信」がありますが、バリアフリー観光情報を集約するための調査が進んでいないのが現状です。

そこで当協会は、広く皆さんからのバリアフリー情報を集めたり、独自に調査をしたりということを始めています。今回は、最寄りの駅から観光地までの移動手段について調査してみました。具体的には、障害のある人が、北九州市に観光に来て、黒崎駅から公共交通機関を利用して門司港レトロまで行くという想定で、関係団体と一緒に実施しました。

「連節バスの乗車を体験」

西鉄バス北九州(株)では、北九州市と協働で人口減少・超高齢化社会に対応した持続可能な公共交通ネットワークの再構築を図るため、連節バスを今年の7月22日より小倉・黒崎間と小倉・戸畑間において運行を開始していました。



この連節バス導入については、視覚障害者や車いす使用者から、バス停の停車位置と出入口の場所の問題、車いす使用者にとつての乗降時間への不安等の声が事前に届いていましたので、これらの問題について点検するために、始発の黒崎駅と途中の八幡駅の2ヶ所から、視覚に障害のある人と車いす使用者とが乗車するという事で小倉駅まで向かうことにしました。

朝、黒崎駅に集合して、まず連節バスの止まるバス停が視覚障害者にとつてわかりやすいかを確認しました。バス停は従来のバスが止まる場所と変更はありませんでしたので、一度黒崎駅を利用したことがある人は、スムーズに行くことができました。しかし、バスが止まると今まで車内アナウンスが聞こえていたのに、連節バスになつてからは、車内アナウンスが聞こえず、自分の乗りたいバスかどうかの確認ができず困りました。乗り口も今までの1箇所ではなく、2箇所になつていきますので、音声案内がないと乗り口の位置もわかりにくい状況でした。

また、車いす使用者にとつては、中央の入り口にあるスロープを運転手が降りてきて出してくれる方式でしたが、運転席から車いす使用者が見えにくいのか、すぐに気が付いてはくれませんでした。乗車してみると、座席は前向き、後ろ向き、横向きなど、いろいろなパターンの座席があるので、視覚障害者にとつてはわかりにくい不規則な座席配置になっていました。車いす使用者の席は従来と同様に乗車口のすぐそばで、車内は空間を広く取つてあるので向きを変えたりすることがスムーズにできました。

障害者割引を利用する際の降り口は、前方運転手横の1箇所、今までと同じ降り方でしたが、バスの後ろの座席に座ると降りる際には、バスが二分の長さがあるので、降り口までの距離があり、ゆつくりしか歩けない人にとつては、少しあせつてしまいます。

また、車いす使用者が降り

る時は、まず前方の出入り口
を利用する人が降りた後に、
運転手が中央昇降口まで来て

スロープを出すので、連節バスだ
と降りる人が多い時などは、時
間がかかっている人は困
ることがあるかもしれないと
思いました。通常のバスと比べて
小回りが利かないので、バス停
で歩道の縁石の近くに幅寄せ
して停車するのが大変そうで、
小倉駅前で降車する際にはス
ロープが縁石に届かず車道に
降ろすことになり、歩道にあげ
るのに力を要していました。

【JRの利用】

小倉駅からは、JRを利
用して門司港駅まで行き
ました。

いつも利用している戸畑駅
では、車いす使用者が乗降す
る際のスロープを駅員がすぐ
に対応してくれますが、小倉
駅は利用客が多いせいか対
応に時間がかかり、だいぶ待
たされました。

門司港駅から帰る際も、
JR側は車いす使用者が乗

りたい電車でも、急な対応は
難しいということでした。



点検活動をしたメンバーム
んなで一緒に帰りました。た
で、JR側に「門司港駅では、
介助をして乗りますので、黒
崎駅で降りる際にスロープの
対応をお願いします」と伝え
ると「乗る時にスロープ対応
しないと降りる駅では対応で
きないルールになっています」
との返答でした。

車いす使用者は、二人で降
りられるから、大丈夫と言っ
たので一緒に帰りました。
後で聞くと、黒崎駅のホー
ムでは駅員さんがスロープで
対応してくれたそうです。

参加者の声

●視覚障害者にとつての
門司港駅は・・・

北九州市身体障害者福祉協会
事務局長 松本 大史

現在、北九州市の観光地
の一つとして門司港レトロが
有名です。関係団体と一緒
にJRを使って小倉駅から門
司港駅まで行きました。私
は視覚障害の方と一緒に門司
港駅の駅舎及びその周辺か
ら点検していきました。



気になった点は、主に三点
でした。二つ目は、駅舎から出
て正面の噴水広場の点字ブ
ロックが、規格外の昔のまま
でかつ、色が周りの床材と同
系色だったということ。
床材のコントラストを頼り
に歩く弱視の方にとっては、

点字ブロックから外れて、同
じ色の床材の方向に誤誘導
されてしまうのでとても危
険だと思いました。

二つ目は、ホームの列車に
誘導する点字ブロックの位
置が1、2番ホームと4、5
番ホームで違っていたとい
うこと。

列車へ誘導する点字ブロ
ックは、始発駅ホームの場
合、改札口から一番近い車両
(最後尾)のさらに一番手前
側のドアに誘導するのが分
かりやすいのですが、4、5
番ホームの点字ブロックが二
奥側のドアに誘導されてい
ました。

1、2番ホームと並行の位
置だと、4、5番ホームには
柱がありましたので、おそら
くはその柱を避けるべく二
奥のドアに誘導するように
したのでしようが、柱からブ
ロック一枚分ずらすだけでも一
番近いドアに誘導することは
できたのではないかと思います。
三つ目は、みどりの窓口内

部に点字ブロックがなかった
ということ。

駅舎の各誘導ブロックから
みどりの窓口の自動ドアま
で点字ブロックでしっかり誘
導されていたのに、自動ドア
を二歩入ればそこから誘導ブ
ロックがありませんでした。
内部は、職員が誘導するとい
う意図であればブロックは不
要でしょうが、お客様で混雑
した場合にはやはりそうは
いきませんので、視覚に障害
のある人がカウンターまで二
人でたどり着く導線は確保
してほしいなと思いました。

点字ブロックは視覚に障害の
ある人が目的の地までたどり
着くための道しるべです。
門司港駅は観光地で日ごろ
から多くの人が訪れています。
その中でいろいろな所まで無
駄にブロックを敷設する必要
はないと思いますので、無駄
を省くためにも、敷き方につ
いて事前に意見交換をさせ
てもらえたら良かったと思
いました。

「ボランティアって
なんだろう?」

新シリーズ

始まります!!

今回より新シリーズが始まります。いろんなボランティアの方々に「ボランティアってなんだろう?」をテーマにお話ししていただきます。

第1回 生命を守る!?

2017年に北九州市八幡西区で、母親が、重度の知的障害がある娘さんの首を絞めて殺害した。母親は「介護が大変だった」「母子家庭で誰にも相談できなかつた」と供述し、容疑を認められている。

市内には、公的相談機関や各区役所にも高齢者・障害者相談コーナーもある。

地域には、障害者相談員や民生委員、福祉協力員もいる。

これだけ多くの相談機関や支援機関があるのでそこ

に繋がっていないかったのか、娘さんの命はなぜ救えなかったのか残念でならない。もし公的サービスに繋がっていないかつたとしても、ボランティアには繋がってほしかった。ボランティアだと気軽に相談できたかもしれない。ボランティアが公的機関と連携して、娘さんの命を救うことができたかもしれない。



2018年に、山口県で2歳になる男の子が行方不明になった。その時、ボランティアとして捜索に参加した尾畠春夫さんが、山の中で男の子を発見した。

尾畠さんは、ボランティア活動を長く続けており、以前にも行方不明の捜索に参加したことがあるという。捜索の経験から子どもは、山の上の

方が上がっていく習性や、声が小さいのでたくさん捜索隊の人たちが捜索を始めた時聞では、小さな子どもの声は聞き取れない、だから捜索隊が出る前に、朝早く山に行き捜索を始めたと言っていた。もし、発見が遅れていたら、亡くなっていたかもしれない。

ずいぶん前の話しになるが、ボランティアと障害者の交流会として、クリスマス会を開催した時、事故か病気か原因は聞いていないが、身体にマヒのある女性が、クリスマス会に申し込みをしてきた。



その人は、病院を退院した後、障害を気にして1年近くほとんど家から出る気力もなかったと言う。クリスマス

会に参加した後、彼女は福祉施設が実施する障害者対象の趣味の講座などにも参加をするようになった。

最初、出会った時は、うつむき加減で蚊の鳴くような小さな声の人だったのが、うそのように見間違えるほど積極的な人になっていた。

ボランティア活動の一つとして、障害のある人たちが参加できるいろいろな交流会を企画してきたが、企画する側は「ボランティア活動でその人の命を守るんだ」と考えて企画しているわけではない。

でも、参加する人は「外に出て行く勇気ももてた」「生活に楽しみができた」「いろいろ相談できる友達もできた」など、ボランティアする側にはわからない、生きていく上で大切な気持ちを持ってくれた人たちもいると思う。ボランティア活動を通して、私たちが知らないところで、生きる希望を失っている人を救えているかもしれない。(たけちゃん)

広告



SKC 会計グループ 税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務

グループ会社

〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番3号
TEL. 093-482-5588 / FAX. 093-482-5566
<http://www.sakaikeiei.co.jp/>

株式会社さかい経営センター 株式会社北九州経理代行センター
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州

福祉のまちづくり ネットワークプロジェクト

(U)レレポート⑫

「聴覚障害者にとっての バリアフリーとは」

北九州市難聴者・中途失聴者協会

理事長 神矢 徹石

聴覚障害者にとってバリアフリーとは何でしょうか。聴覚障害者の特性としては、「音声による情報認知やコミュニケーションが不可能あるいは困難」「音声・音響等による注意喚起がわからないあるいは困難」「外見からは気づきにくい」「視覚を中心に情報を得ている」等があげられます。

そのためコミュニケーション手段として、手話や文字によって意思疎通を図るための情報伝達設備を備えること、とくに音声で案内される緊急時情報等の手話あるいは文字情報による素早い提供等が求められています。筆談ボード等を使用したコミュニケーションもこれに含まれます。

より具体的には役所・銀行病院等の施設において、音声による呼び出しのほかに電光表示板等をあわせて設けることが望まれます。非常警報装置や施設内の案内誘導等についても、光振動等による情報や画像文字等の視覚情報によって伝えることが望まれます。よく本人確認を電話のみで行うケースがありますが、これは改善されなければなりません。

一口に聴覚障害者といっても、手話でコミュニケーションを図る人間がいれば筆談でコミュニケーションを図る人間もいるなどさまざまです。その聴覚障害者がいつ失聴したか、失聴してからどのような生活を送ってきたか(たとえば、周囲に手話のできる人がいたか等)によっても変わってきます。

聴覚障害者は非常時には情報を得にくい傾向があります。たとえば日常的にエレベーターを使用している聴覚障害者であっても、エレベーターの異常時に外部と音声で通話ができない等があります。また災害時に聴覚障害者に連絡が伝わらない、その時は伝わったとしても避難先で情報が得られないということもあります。

このような状況を改善してこそ、聴覚障害者のバリアフリーといえるのではないかと思います。

「サマースクール」

終了しました!!

夏が終わり、本年度も「障害児の長期休暇対策事業(サマースクール)」が無事に終了しました。

今年から夏休みが1週間短くなったので、イベントが1週間に2回のペースになり、いつも増して、とても目まぐるしい夏になりました。

そして今年、初めてのイベントが二つ!!

まず一つは「いのちのたび博物館」でのアンモナイトのレプリカを作ろう!です。



アンモナイトの型に石膏を入れて、時間をおいて固めたら色をつけて出来上がり!

みんな固まるまでのわくわくと、自分の好きな色で塗って自分だけのアンモナイトのレプリカが完成した時は、拍手がおこりました。

次に、「まるがめ製麺 うどん作り体験!!」

ウエルとぼたの調理室を使ってまるがめ製麺の職人さんが6名も来てくれました。



参加してくれたみんなは真剣に本当の職人になりきって作ってくれたので、とても美味しいうどんを食べることができました。

今年もたくさんさんのボランティアに参加してもらって、すべてのイベントが大盛況でした。来年はどんな新しい企画をしようかと今から考えています。皆さんご参加ありがとうございました。

(ボラ協コーディネーター) 鈴木喜子

広告

車椅子バスケットボール チームメンバー募集!

希 BASKET BALL TEAM
足立クラブ
北九州足立クラブ
CORE Corporation

自分を信じて!
仲間を信じて!

KYUSHU DOLPHIN

CORE Corporation 有限会社コアは、上記バスケットチームを応援しています



—ボラ協との関係は—

今年度から理事になりました。去年までは、娘が在籍している門司総合特別支援学校のPTA会長として、サマースクールの学校側の取りまとめ役でボラ協と一緒に活動しました。新設校でのすぐのPTA会長だったので、組織を一から作り上げるのに忙しかったのですが、今年度から副会長になり余裕ができたので引き受けました。

—門司総合特別支援学校は—

知的と病弱(心身症)の子どもが対象です。それまで知的の特別支援学校に通っていたので心身症のことはわからず戸惑いました。PTA活動を通じて研修会に参加し、保護者からも話を聞いて勉強しました。

—子どもさんは—

長い期間不登校で関係機関の勧めで来た親子もいます。転校の手続きが煩雑で時間もかかりますが、「早く来ればよかった」という子ども自身の声もありました。保護者は子どもの対応や日々の生活に追われて疲れていて余裕がないので、PTAがなければ保護者が一人で家について抱え込むと思います。保護者同士が集まれる場所が大事で、PTAは心強い存在です。



ボラ協 新理事

芳賀 信江さん

「つらい時ほど笑顔で！」

やりたくないことはしませんが、社会に出たらやりたくないけどしなないとけないこともあるので、週一回は学校に行くこと、家の手伝いをすることを約束事として、やりたいことをさせています。忙しく過ごしている私たちと、本人の感覚やペースが異なり、ゆっくりとしたスピードのようでも無理強いはいしていません。絵を描くことが好きで、日中iPadを扱っています。操作は自分で工夫して知らないうち

行き詰ることもあるようですが、学校に行つていくと気づけなかったことでその意味ではいい体験をしていると思います。不登校の保護者の気持ちがよくわかったし、心身症の勉強をしたこともとても役に立ちました。子どものおかげでいい経験をさせてもらっています。子どもがいるからいろいろな人と出会えたり、「おかげで」と気持ちよく切り替えることができます。

—ボラ協でやりたいことは—

人と会うこと、一緒に何かすることが好きです。企画も好きなのでボラ協で新しい何かを始められたらと思っています。

—ストレス解消法は—

掃除以外の家事、特に料理が大好きで、作って食べさせることです。

聞き手 森山 幸恵

広告 明るく・元気に・前向きに!困ったときはお互い様

業務内容

資料の電子化・データ処理・ホームページ作成・アクセシビリティ検証・企画・デザイン・印刷各種・各種コピー・大型カラー出力・安全標識作成

障害者と共に生き活きと働ける職場づくりを実現するため、日々頑張っています!

三菱ケミカル株100%出資特例子会社 化成フロンティアサービス株式会社

〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1

TEL093-643-4390 FAX093-643-4393

http://kfs.mc.co.jp



「丸亀製麺

まるごとまるがめ
うどん教室」

株式会社トリドルホールディングス
CSR推進室 木村 成克

8月22日サマースクールのボランティア活動に丸亀製麺の「まるごとまるがめうどん教室」を開催させていただきました。障害のあるお子様と、そのご家族の皆様にご参加いただき、小麦粉から作っていただき、こねる、踏む、伸ばす、切ると全ての作業を体験していただき、釜揚げうどんとして召し上がっていただきました。ボランティア協会の方々の力をお借りすること

ができ、参加者の皆様の夏の思い出として楽しんでいただけたのではないかと思います。普段何気なく食べているうどんが、どうやって出来上がったのかを二から作っていただくことによって、貴重な体験をしていただく機会になったと思います。その中で何より印象的だったのが、みなさんの笑顔でした。弊社のうどん教室とい

う食育活動を、参加者の方々に体験していただき笑顔になつていただけたことは、我々の喜びとなりました。

ある参加者の方からは「将来丸亀製麺で働く!」とこれ以上ない嬉しいお言葉をかけていただけました。



また、参加者アンケートの結果も全員が「来年も参加したい」という回答をいただき、大変誇り高い気持ちでいっぱいです。今後も人々の生活に欠かせない食を提供する企業として、食育を中心とした未来につながる社会事業を行ってまいりたいと思います。

この度は、貴重な機会をいただきました。誠にありがとうございました。ございました。

参加者からの声

お土産にいただいた粉とお塩で早速家で作ってみました!! レシピがあったのでとても美味しく出来上がりました ありがとうございます♡

とても楽しかったです お店で食べるのも良いですが、皆さまと作るうどんも美味しかったです ありがとうございます

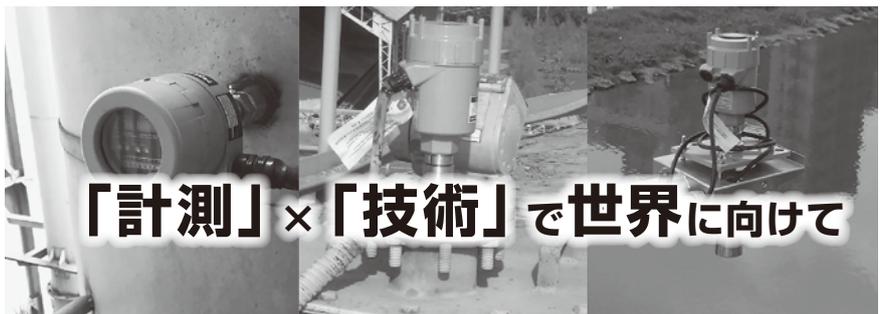
美味しかったあ〜 とても良い夏休みの体験となりました

すごく楽しかったので、またぜひ開催してほしいです!! 先生方も優しく教えてくれて良かったです

広告

Matsushima
Matsushima Measure Tech

株式会社 マツシマ メジャテック
〒807-0837
北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
URL <https://www.matsushima-m-tech.com>
E-mail sales@matsushima-m-tech.com



「計測」×「技術」で世界に向けて

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

大友 征子 小倉ロータリークラブ

国際ソロプチミスト北九州西 長岡設備

国際ソロプチミスト北九州南

北九州門司みなとライオンズクラブ

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

井上 泰子 宇野久美子 大坪 隆子 大道由梨恵

藤井 千世 藤田 政枝 古橋千寿子

永犬丸市民センター 株式会社西日本電波研究所

サンライフ緑ヶ丘マンション 新ケミカル商事株式会社

西部障害者福祉会館 八幡西区役所保護課

有限会社仁徳海運

株式会社ジェイコム九州北九州局

○バザー品

釘宮 智子 西澤亜希子 松尾 清美

あそびに来てね!!

毎年、恒例の東部障害者福祉会館「ふれあい広場」ですが、ボラ協はリサイクルバザーで出店します。その他、会館利用者の活動発表や軽食コーナーもあります。

●日時
10月20日(日)
10時~15時

●会場
北九州市立
東部障害者福祉会館
(ウエルとばた6階・7階)



※現在、リサイクルバザーの品物を募集中です!

詳しくは事務局882-6770までお問い合わせください。

協会カレンダー

9月	10月	11月
11日(水) 常任委員会	4日(金) SKC会計グループ創業50周年感謝祭(岡田)	13日(水) 常任委員会
15日(日) 会報第224号発行	5日(土) 障害者芸術祭PRイベント	20日(水) 福祉のまちづくりネットワークプロジェクト定例会
18日(水) 福祉のまちづくりネットワークプロジェクト定例会	9日(水) 臨時常任委員会	22日(金) 福祉のまちづくりネットワークプロジェクト定例会
19日(木) 余暇活動支援者連絡会	16日(水) 福祉のまちづくりネットワークプロジェクト勉強会	23日(土) 第16回北九州チャンピオンズカップ
22日(日) とりはた玄海園障がいのある人へのボランティア入門講座(協力事業)	19日(土) 第16回北九州チャンピオンズカップ	24日(日) 国際車いすバスケットボール大会「ボランティア研修会」
24日(火) 令和元年度ボランティア養成講座(災害時の障害者支援)(榎竹田)	20日(日) 国際車いすバスケットボール大会「ボランティア研修会」	27日(日) 東部障害者福祉会館「ふれあい広場」(協力事業)
26日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会		市民ふれあいフェスティバルに参加

第16回

北九州チャンピオンズカップ 国際車いすバスケットボール 大会観戦のご案内

11月22日(金)~11月24日(日)
北九州市立総合体育館にて、今年で16回目になる、国際車いすバスケットボール大会が開催されます。
出場国はオーストラリア・カナダ・ドイツ・日本です。
総合体育館で一緒に国際車いすバスケットボール大会を盛り上げませんか?
お待ちしております。



詳しくは
ホームページまで
<http://www.kitakyushu-cup.com/>